

THE 6TH ROBOT AWARD

「口ボット大賞」は、わが国の口ボット技術の革新と用途拡大及び需要の喚起を促すため、活躍した口ボットの中から市場創出への貢献度や期待度の高い口ボットや部品・ソフトウェアなどを、経済産業省と一般社団法人日本機械工業連合会が表彰する制度である。先月、第6回口ボット大賞が決定。受賞者と受賞製品の概要を紹介する。

經濟產業省 製造產業局

経済産業省のロボット政策と ロボット大賞について

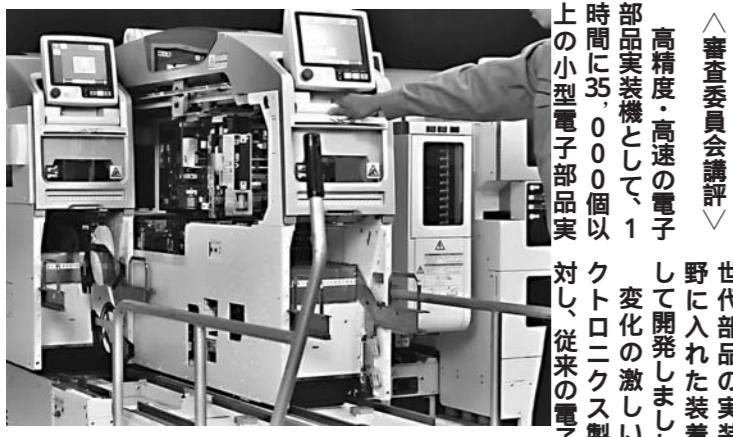


写真1 XYロボットモジュール交換



写真2 XY装着ヘッド交換

経済産業大臣賞
(産業用ロボット部門)
モジュール型高速多機能装着機NX-T
富士機械製造株式会社

モジュール方式を採用し、設備が稼働状態にありながらも、部品サイズに応じてヘッド（電子部品を装着する先端部）を交換可能な電子部品実装機。カメラ画像と画像処理による自動校正技術等により、システム全体として高い精度を実現している。

生産技術力を世界に示した実績が評価された。

装が可能で、世界シェア1位の装着機は装置そ

(写真1、2) さりに接着剤塗布や半田印刷検査・実装後検査機としての役割を担うことができ、実装プラ

△概要▽
△審査委員会講評▽

静電容量の変化から力を検出するセンサ。高耐久性と低価格を実現し、多くの産業用ロボットに導入されている。

従来の歪ゲージ型力覚センサ（物体のひずみを計測）は高価で壊れやすいことが大きくな課題であったが、静電容量型（力を静電容量に変換し計測）することでこれを解決し、高耐久性・低価格という市場の要求に応えた製品の量産化に成功。実際に多くの産業用ロボットに採用され、その用途拡大に貢献した。

最優秀中小・ベンチャー企業賞 (中小企業庁長官賞) (部門・ソフトウェア部門) 静電容量型力覚センサ「Dyn PickR」

マーケティング
担当部長 藤本 幸司
開発企画部
ループ 博士 (工)
平田機工株式
富谷 龍也
装置事業部
才機器グループ()

片の作製や、画像処理による誤作業の検知などが可能。

日本機械工業連合会会長賞
(産業用ロボット部門)
全自動連続薄切装置
ティーシュー・テック スマートセクション
サクラファインテックジャパン株式会社
／平田機工株式会社

発行着手し	営業所長
ましたが、市	鈴木 信人氏
場から	海外営業企画
二ーズは殆	岡田 美穂氏
どなく、一部	代表取締役
のノート型	岡田 和廣氏
PCのポイ	

△概要▽
△審査委員会講評▽

静電容量の変化から力を検出するセンサ。高耐久性と低価格を実現し、多くの産業用ロボットに導入されている。

従来の歪ゲージ型力覚センサ（物体のひずみを計測）は高価で壊れやすいことが大きくな課題であったが、静電容量型（力を静電容量に変換し計測）とすることによってこれを解決し、高耐久性・低価格という市場の要求に応えた製品の量産化に成功。実際に多くの産業用ロボットに採用され、その用途拡大に貢献した。

最優秀中小・ベンチャー企業賞 (中小企業庁長官賞) (部門・ソフトウェア部門) 静電容量型力覚センサ「Dyn PickR」